

整形外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「高齢者大腿骨近位部骨折手術における整形外科医による自家脊椎麻酔の有用性および周術期因子に関する後ろ向き観察研究」についてのお知らせとお願い

整形外科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解をお願い申し上げます。

研究の目的

高齢者大腿骨近位部骨折手術において、整形外科医が施行する自家脊椎麻酔の成立性および安全性を明らかにすることを目的とします。あわせて、術中血圧低下や周術期有害事象に関連する背景因子を検討し、今後の症例選択や周術期管理の改善に役立てます。

研究期間

研究機関の長の研究実施許可日から 2030 年 3 月 31 日まで

研究の意義

本研究により、高齢者大腿骨近位部骨折手術における自家脊椎麻酔の実際の成績と注意点が明らかとなり、今後の安全な診療体制の構築に資することが期待されます。

研究の方法

研究デザインは後ろ向き観察研究です。2022 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの間に、当院整形外科において大腿骨近位部骨折に対する手術を受け、整形外科医による自家脊椎麻酔が施行された、または試みられた 65 歳以上の患者さんを対象とします。研究のために新たな検査や治療を追加することはありません。なお、本研究では、術中血圧低下を『術中に収縮期血圧が 80 mmHg 以下となった場合、または血圧低下に対して昇圧剤が投与された場合』と定義して評価します。

利用する情報・試料の種類

研究に用いる情報は、年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、併存疾患、内服薬、骨折型、手術術式、受傷側、麻酔記録、術中血圧低下、昇圧剤使用、呼吸循環関連有害事象、術後悪心・嘔吐、せん妄、在院日数、退院先など、診療録および麻酔記録から取得可能な項目です。試料は使用しません。

利用を開始する予定日

研究機関の長の許可日以降に開始します。

研究成果の取扱い

研究成果は学会発表や論文として公表される可能性があります。個人が特定されることはありません。本研究の内容や研究結果についてご質問がある場合には、下記の研究責任者までお問い合わせください。

個人情報の保護方法と情報の取扱い

個人情報は研究用 ID に置き換えて管理します。対照表は研究責任者が施錠された場所またはアクセス制限された媒体で保管します。研究データは研究終了後 10 年間保管し、その後朝日大学の規程に従って廃棄します。

個人情報管理者

朝日大学歯学部長 玉置幸道

朝日大学病院長 日下義章

研究への使用について拒否をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはなく、費用もかかりません。ご自身の情報が研究に用いられることについて了承いただけない場合には、下記の研究責任者までお申し出ください。お申し出いただいても、今後の診療において不利益を受けることはありません。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

本研究により生じる知的財産権は研究者および朝日大学に帰属し、研究対象者には生じません。また、研究の結果の解釈に影響を及ぼすような開示すべき利益相反はありません。

問い合わせ先（研究責任者）

朝日大学病院 整形外科 助教 酒井 周 電話番号：058-253-8001

苦情窓口

朝日大学病院 管理課

〒500-8523 岐阜県岐阜市橋本町 3-23

電話番号：058-253-8001



（2026 年 6 月 10 日改定）